



## 【 議事要旨 】

### ● 合同分科会

#### 【開会】

(事務局) 定刻の2時になりましたので、これより第17回の柳瀬川・空堀川流域連絡会第7期を始めさせて頂きたいと思ひます。開会の始めとしまして座長の〇〇課長の方から一言いただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

#### 【挨拶】

(座長) 座長の〇〇でございます。改めまして本年、年あけまして最初の流域連絡会でございます。本年も引き続きよろしくお願ひ致します。

本日、第17回目の流域連絡会、分科会としては4回目の開催となります。前回の分科会では、両分科会ともに空堀川の将来像に向けたアイデア出しという事で、闊達なご議論頂いたところでございます。本日は、それに続きまして空堀川の将来像に向けて、具体的な取り組みをご議論頂くというところでございます。

早いもので第7期流域連絡会もいよいよ後半戦、時間の限られたところとなっております。両分科会ともですね、取りまとめにあたっては、出来るだけ多くのみなさんのご意見を反映させていきたいと考えておりますので、本日の分科会も引き続き闊達なご議論を頂きたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

(事務局) はい、座長ありがとうございました。では事務局の方から報告をさせていただきます。委員の出席状況でございます。

<出欠状況の確認>

以上のような状況でございます。

あと、配布資料でございます。

<配布資料の確認>

お配りした資料は資料8プラス添付資料、以上でございます。途中何か過不足があれば事務局の方にお声かけをして頂ければと思ひます。よろしくお願ひ致します。

#### 【報告事項】

(事務局) それでは次第に沿いまして今期の議事を進めていきたいと思ひます。司会進行は〇〇座長の方でよろしくお願ひ致します。

(座長) はい。ご苦労様でした。それでは次第に沿いまして議事を進めさせて頂きます。それでは、次第の3番になります報告事項について、事務局お願ひします。

(事務局) はい。次第にあるように、前回の議事の確認と、空堀川の将来についての説明という事で2つございます。

<【資料3】議事録(第16回)の説明>

<【資料5】第16回流連 各分科会での意見交換(議事要旨)の説明>

前回の議事については以上でございます。

口頭になって申し訳ございませんが、工事の状況について簡単にご説明致します。

<工事の状況についての説明>

工事の状況は以上でございます。引き続き資料の方説明してよろしいですか。

(座長) 次第の3、報告事項については以上という事でよろしいですか。

(事務局) あと1点。修正案について説明するということがございますので、それを先に説明させていただきます。

(座長) 次第4の意見交換(1)という事で。

(事務局) じゃあここで1回。

(座長) はい、ありがとうございます。それでは引き続きまして意見交換、これは基本的に各分科会ごとになりますが、最初に共通事項といたしまして空堀川の将来像の修正案という事で、事務局の方で説明お願い致します。

(事務局) はい、すみません。次第にございますように、本日の分科会の議論は2種類になってございます。あとで詳しくご説明致しますが、将来像の事と各分科会それぞれのテーマに沿って議論をしていただくという時間を確保していきたいと思っています。前回に引き続きまして資料4をご覧になっていただければと思います。空堀川の将来像取りまとめの修正案ということです。関連の資料の5も合わせてご覧になって頂ければと思います。修正案という事で、前回事務局の方で出されました案について、16回の時に皆さんにいろいろ意見を頂きました。それが具体的には資料5で、先程ご説明した分科会の話があったりいたします。

<【資料4】空堀川の将来像(修正案)の説明>

こんなようなことで、将来像の修正案を本日ご提案させていただいております。

<【資料6】委員から頂いた「空堀川の将来像」についての意見などの説明>

これから本日の説明を致しますが、分科会の時間を全体で80分位取ろうかなと思っております。まず、30分位の時間配分で今回ご説明しました将来像について、資料6の意見も踏まえて、みなさんにどんと意見を出していただきたいと思います。やはり、ここおかしいとか、こういう書き方はいいねとか、ここは大切だとか。あと、イメージ図を解り易いように色々工夫はしようかと思ったんですが、今回新しく起こすという事も出来ず、再生構想だとか、マスタープランだとかそういう所から持って来てはめ込んでおります。このイメージ図については、これが本当に適しているのかどうかというご意見もいただければと思います。

今回、資料6とか、本日頂いた意見、また資料5等を総合的に集約しまして、現時点での将来像というものを、一定の形で整理できればという風に思っております。まずは30分という時間目安で、将来像について意見交換をお願いします。続きまして、分科会の議論もやっておりますので、それぞれ2つの分科会の各テーマの意見交換という事で50分程度という事で考えております。次第にもございますが、河川環境分科会につきましては、今後、具体的に何を行っていくかという視点で議論をしていきたいという話をまとめ役の方としています。水循環分科会の方につきましては、水量の具体的な方向について、更に議論していきたいというような事もございます。この辺の事につきましては、資料7、資料8を始め、後は番号はついておりませんが、本日、分科会の議論に使えるという事で、まとめ役の方とか事務局の方で資料を付けてございます。その辺を活用してまとめ役の方もしくは進行によりまして、関連なご意見を出して頂ければと思っております。最後に、その辺の所をまとめ役の方に報告

を頂くという事で、今日の流域連絡会を進めていこうかと思っております。説明の方は以上でございます。

(座長) はい、ありがとうございます。それではですね、この後、分科会での意見交換入りますので、ご準備、ご協力の方よろしくお願い致します。

(事務局) 質問等ありましたら、分科会の中で適宜お答えしていきたいと思えます。

それでは分科会の議論、それぞれまとめ役の方をお願いしたいと思います。時間の方ですが、始め30分位という事で14時55分位を目安に将来像について色々ご意見を頂ければと思います。残りの50分弱位、15時40分位を目途に各分科会のご議論をして頂くという事で、また15時40分にはそれぞれの分科会が合体して報告していただくという事で流れを進めていきたいと思えますので、まとめ役の方、申し訳ございませんがよろしく申し上げます。それでは〇〇さん、〇〇さんの方でよろしくお願い致します。

(副座長) はい、それでは14時55分まで分科会という事ですね。で、共通事項という事は分科会でやるということですか。

(事務局) 将来像については分科会で30分。

(副座長) 分科会で30分やるという事ですね。

(事務局) はい。お願い致します。

## ● 各分科会に分かれて主要テーマについて意見交換

### ● 合同分科会

#### 【取りまとめ】

(事務局) それでは皆さん色々ご議論ありがとうございました。なかなかいつも分科会の時間取れずに充分議論されなかった所もあるかと思いますが、現時点での報告という事にしたいと思えます。次第に沿いまして、また全体の場を進めていきたいと思えます。座長の方で引き続き進行の方お願いできますでしょうか。

(座長) はい、それでは皆さんお疲れ様でした。早速ですね、各分科会ごとに取りまとめ、報告を頂きたいと思えます。最初に河川環境分科会の方、まとめ役の〇〇委員の方から報告をお願い致します。

(まとめ役) はい、それではご報告をさせていただきます。次第に沿いまして河川環境分科会は進めさせて頂きました。まずは、真ん中に共通事項というふうにあります空堀川の将来像（修正案について）委員の皆さんのご意見を頂きました。私の方からはですね、いきなり細かい所の議論というのも30分という限られた時間の中ですので、大きく将来像の全体を見て頂いて、不足があるとか、不適切であるとか感じた事があたらご意見を頂きたいという事で、各項目の細かい表現については、あえて避けさせてくという事でご議論を頂きました。その結果として、この大きな構成について、下の方は大きくは維持管理とそれから1番下に法令、関連機関、関連団体、地域住民と整理されていますけど、ここについては特に異論はなかったと思えます。ただ、上の方の、環境、防災、人が交流でありますとか、恵み豊かな川という所の、この構成の仕方についてはご意見がいくつかありまして、大きくは3つあったかと思えます。1つは、環境と防災という大きなくくりの中で、それぞれをまとめた方がいいのでは

ないかという 2 本立て論、それから、3 本立て論、環境と防災に加えて黄色の人が交流にして、恵み豊かな川というのをむしろ環境に入れた方がいいのではないかというご議論ではなかったかと思います。という事で、大きなくりを整理しなおして、解り易くした方がいいかなという所で 30 分が終わった所であります。

それから、分科会としての今後の取り組みにつきましては、各委員のみなさんから多くの意見を出して頂きました。1 つは、すでに前回にも出ておりました植樹という所を、具体的、計画的に進めたらいいだろうという事。合わせて、植物調査、植生調査、その上で更に生物調査、これは魚類ですとか鳥類を含めるかもしれない、或いは昆虫もあるかもしれませんが、最後に生物調査をやらなければいけない。その前提としては、現状がどうなっているのかについて、空堀川全域の現状調査をするべきではないかという事でした。特にどの辺の所が調査対象になるかという事では、いくつかポイントを挙げて頂いた所でございます。おおよそそんな議論で、丁度時間になりました。以上でございます。

(座長) はい、ありがとうございました。

(まとめ役) 何か皆さんの方から補足がございますか、よろしいですか。では〇〇委員、補足して下さい、簡単に。

(団体委員) 補足というんじゃないですけど、やっぱり大きな柱の中に 1 つ、緑豊かなという要するに、河川の周りに緑をとという事で緑という言葉を入れて欲しいなという思いがございます。

(座長) はい、ありがとうございます。それでは続きまして水環境分科会の方から、〇〇委員報告をお願い致します。

(まとめ役) こちらの分科会では、将来像について、環境と人が交流し、賑わいのある川、防災に役立つ川、恵み豊かな川と 4 つになっているんですけど、下の 2 つの、人が交流し、賑わいのある川と恵み豊かな川を 1 つにまとめたかどうかという話がありました。あとは、項目が少し多すぎるのではないかという事で、大きな項目の中で少しまとめて 1 つとか 2 つ程度にした方がいいのではないか、具体的な言葉としては、せっかく事務局の方で追加をして頂いたりしているんですが、どうも少し言葉がお役所的というかイメージがあまりはっきりしていないのが多いので、やはり具体的なイメージが出来るような言葉にした方がいいのではないかという事で、みなさんお考えというのは一緒でないので、各人の考えをメールなり手紙なりで事務局の方にお送りして、まとめて頂いたらどうかという事になりました。

それからもう 1 つ、今日お配りした A3 の資料、水量確保の検討という事でまだ具体的な所までいきませんでした。今日配布された平成 18 年の提言には 10 項目ありますが、こちらの方はこの 10 項目だけではなくて他に少しプラスしています。この辺を今後検討していきましよう。それにつきましては、最後に配布された現地見学会を、是非やって頂きたいという事で、現地見学箇所図ですね。①番の所が多摩川上流水再生センター、多摩川の上流支の排水を処理して、ここで高度浄化をして、玉川上水と野火止用水と千川上水に流している所です。ここで今、具体的にどの程度流しているのか、どの程度の能力があるのかという所を確認したいなと思います。②番目については、残堀川と玉川上水が立体交差している部分です。構造的には珍しい所で、伏越という工法なんですけど、そこの見学をする。③番目は水道局の小平監視所。多摩川の羽村の取水堰からの水が、玉川上水を通してここまで流れて来ていて、ここから東村山の浄水場に送っている訳ですが、その所です。その下流に、先程の

①番からの水が放流されている所なので、そこを見学したい。④番目は東村山の浄水場。東村山から下流の方、或いは23区にも1部送っている所です。これが、空堀川に面していて水道の原水ですね。これからだんだん人口も減って来るし、一人あたりの使用量も今は減っているの、余裕も出て来るのではないかという事です。あとは、荒川の方から送ってくる管が2年後位には更新されるという状況の変化もありますので、ここの所を見学したい。是非これを、来月にでもやって頂けないかという議論になりました。以上です。

(座長) はい、ありがとうございました。両分科会共に空堀川の将来像については、構成の方ももう少し、ひと工夫必要ではないか、具体的には4つ構成の所を3つないしは2つに絞れるんじゃないかという事と、中についても、バランスを含めて再精査する。それについては、別途委員で意見を持たれている方は事務局に連絡を頂くと、こういった事かと思えます。

個別事項については、河川環境分科会では、具体的な取り組みとして植樹というお話があったという事と、まずは現状把握、調査を進めますかというお話。その際、緑豊かという視点でやっていきたいというお話だったと思えます。

水環境分科会については、水循環の取り組みとして平成18年提言の10項目を踏まえつつも、プラスアルファでの検討をしていきますというお話です。それから、見学会については主旨のご説明がありました。以上、意見交換でございます。ご協力ありがとうございました。

#### 【その他】

(座長) それでは次第の最後5番になりますが、次回18回流域連絡会の日程について等を、事務局の方よろしく願いいたします。

(事務局) はい。皆さん闊達なご意見色々ありがとうございます。将来像について、今後の分科会の進め方について、まとめ役さんの方とも話の場を設けて今後の流域連絡会の運営を詰めていきたいと思えます。よろしく願い致します。

それでは次回なんです、2月の中旬ないし下旬頃に、先程〇〇さんの方から資料の説明をして頂くような形になりましたが、現地見学会の方という事で考えております。行く場所は1番後ろの資料の案でございますが、相手先の下水道局及び水道局さんの方の監督所の方と、どういう内容でとか、既存の施設見学のルートや内容があったりするので、日程と内容についての打合せをしております。今、午後いち出発の夕方までみたいな感じで行こうとはしていますが、じっくりやろうとすると、とてもとても厳しい部分があるし、相手の都合もあるので、特に、小平監視所は直接水道局さんの方は維持管理していないという事情もあるので、その辺の所を調整したいと思っております。という事で、申し訳ありませんが具体的な流れや日程等、詳細が決まりましたらご案内を致します。また、参加する方を把握して実施していくという事でよろしく願い致します。

あと、こういった形の議論は3月中旬頃という形で、引き続き、分科会の議論ないしは年度という事もあるので今までの整理という事も考えております。次回の日程については以上でございます。

それと、お配りした資料の中で委員からの提供資料がございまして、埼玉“いい川”づくり研修会の資料をお付けしてあるので説明をお願いします。

(団体委員) 埼玉“いい川”づくり研修会というタイトルで1月29日木曜日10:00~16:20に、朝

霞市の産業文化センターで開催されます。何回か行かれた方もいると思いますが、内容が凄く良さそうなので、我々も柳瀬川や空堀川にも多く含まれているテーマが出て来ると思います。定員 100 名で先着順で、事前に FAX か E-Mail で申し込みが必要ですが、まだ間に合うかもしれません。

(事務局) はい。ありがとうございます。このような情報提供がございましたので、皆さん興味のある方は申し込みする事をして頂ければと思います。

あと、封筒は事務局の所に置いておきますので必要であればお持ち下さい。事務局の方からは以上でございます。

(座長) はい。ありがとうございました。それでは、次第、最後 6、閉会でございます。本日長い時間、また時間オーバーしてしまいまして申し訳ございません。これにて第 17 回流域連絡会、終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。お疲れ様でした。